「(仮称)芦屋市文化基本条例原案(骨子案)」市民意見の募集結果

問い合わせ　生涯学習課　☎38-2091

本年４月から条例原案の協議を進めている「(仮称)芦屋市文化基本条例原案(骨子案)」について、９月25日から10月24日まで市民の皆さんの意見を募集しましたが、意見の提出はありませんでした。

今後は、「(仮称)芦屋市文化基本条例原案」を取りまとめ、来年３月市議会に提案する予定にしています。

社会教育関係団体登録の申請　受け付け

問い合わせ　生涯学習課　☎38-2091

下記の登録の要件に該当し、新規登録を希望する団体やグループは、申請手続きをしてください。 登録承認の有効期間は、平成22年３月1日から平成24年８月31日までです。

【登録要件】

①社会教育法に基づく組織的な教育活動を自ら行い、その団体の学習活動・内容が明確であり、公の支配に属さない団体であること。

②団体運営については、団体に主体性があり、営利事業や政治・宗教活動を目的としない任意団体であること。特に芸能・趣味関係団体については、活動が流派の普及活動や指導者の営利を目的としたり、またはそれに類した行為を行わない団体であること。

③過去1年以上の実績があり、将来も継続して活動できる団体であること。

④規約があり、会計・会計監査等の制度が確立しており、団体の本拠としての事務所が芦屋市にあること。

⑤健全な自己財源を持ち、会員の会費等の負担額が一般的に見て高額すぎないこと。

⑥団体の活動への参加窓口を一般市民に広げていること。団体内だけの活動のみでなく、地域全体への普及啓発活動があること。

⑦組織の構成メンバーが10人以上で、主として(６割以上)芦屋市民であること。また、芦屋市域を活動の拠点にしていること。

【受け付け期間・場所】

■期間　12月10日～25日(平日・執務時間内)　■受け付け　生涯学習課

美術博物館の催し

問い合わせ　美術博物館　☎38-5432

うまいもんと大坂画壇　－浪花くいだおれの系譜－展　10月10日▶12月13日

【本館学芸員による列品解説】　＜要観覧券＞

■日時　12月５日・12日(土)午後２時～３時　■申し込み　直接会場へ

【みんなで歌いましょう】

■日時　12月11日(金)午後１時30分～３時　■会場　講義室　■指導　加藤純子(歌)・沖倫子(ピアノ)・I LOVE ASHIYA　■参加費　500円(観覧料含む)。歌集のないかたは歌集代1,000円(『愛唱名歌』野ばら社)

※12月13日(日)の「みんなで歌いましょう・クリスマスコンサート」(合唱とハンドベル)は、美術博物館ホールで(午後１時30分～３時)開催します。＜要観覧券＞

谷崎潤一郎記念館の催し

問い合わせ　谷崎潤一郎記念館　☎23-5852/FAX38-3244

✉ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

【ロビーギャラリー】　津守幸苑　扇幸流発足15周年記念展

■期間　12月２日～平成22年１月17日〈12月24日～１月４日・月曜休館〉午前10時～午後５時(入館は４時30分まで)　■内容　日本押し絵・木目込み染色工芸作家・扇幸流家元の津守幸苑氏の雅趣あふれる創作押し絵の世界　■入館料　300円

【文学館講座】　作家を囲む読書会

■日時　12月17日(木)午前10時30分～正午　■会場　講義室　■内容　ヘミングウェー作「老人と海」　■講師　作家・柳谷郁子氏　■定員　16人

■受講料　2,300円(コーヒー代含む)　■申し込み　上記へ

【１日教室】　押し絵１日体験講座

■日時　12月19日(土)午後１時30分～３時　■内容　３種類のデザインから干支「寅」をミニ色紙に　■講師　津守幸苑氏　■定員　16人　■受講料　1,000円(教材費含む)　■申し込み　上記へ

成果実る会下山高地性集落遺跡の発掘

半世紀ぶりの調査に寄せて

市教育委員会は、県史跡会下山(えげのやま)遺跡の国史跡指定を目指し、50年ぶりに発掘調査を実施しました。３カ年計画を立てて実施した、日本を代表する弥生文化の高地性集落の発掘成果を特集します。

激動の東アジアで農耕文化を受容しつつ、集団の抗争が絶え間なく続き、やがて古代国家が誕生します。紀元前の大昔から、会下山に住んだ弥生人の生活や弥生社会の仕組みが、明らかになってきました。

問い合わせ　生涯学習課文化財担当　☎38-2115

眺望抜群のＳ地区祭場．標高200mから広大な西摂平野を望む(写真手前は、山芦屋町・芦屋川と山手町)

尾根上の竪穴住居跡で説明を聞き入る市民

国史跡指定の重みに思いをはせ　再び会下山に発掘調査のメスを

市内三条町にある会下山遺跡は、弥生時代中期から後期(今から約二千年前)の山の頂きにある、珍しい集落跡です。

昭和二十九年、山手中学校の背山の植物実習園の整備工事に伴って、生徒が出土している弥生土器を発見したことがきっかけとなり、昭和三十一～三十六年まで、村川行弘・石野博信両氏が担当して、数年に及ぶ発掘調査が行われました。

その結果、竪穴住居跡や祭祀場跡、火焚き場をはじめ、弥生時代の集落を構成するさまざまな生活跡が見つかりました。また、当時のムラびとが使った土器や石器・鉄器・青銅器などの遺物が、数多く出土しました。

さらに、この発掘調査によって、それまでほとんど知られていなかった弥生時代の山上の集落(専門的には「高地性集落」と呼ばれており、中学校・高等学校の教科書・参考書等にも登場)の存在が明らかになったことは、日本考古学史上に残る大きな成果です。

昭和三十五年には、その学術的な重要性が高く評価され、兵庫県史跡第一号に指定されました。

発掘された竪穴住居跡などは、歴史教材園として整備されるとともに、芦屋ライオンズクラブ主催の清掃奉仕活動ボランティアが三十五年以上継続されるなど、長年にわたって市民の皆さんや登山者たちに親しまれながら、守られてきました。

最初の発掘調査からちょうど五十年目にあたる平成十八年には、その記念事業として、ルナ・ホールで「会下山から邪馬台国へ」と題した歴史フォーラムが開催されました。

出土遺物を熱心に見入る市民(山手中学校側登り口)

３次調査・第４トレンチ出土の高温焼成・謎の焼土坑

集落の北限を画する堀状の遺構

３次調査・第５トレンチで見つかった加工段遺構

焼土坑の熱残留磁気測定や滞磁率測定の専門調査(兵庫県立大学地球物理学教授・森永速男氏)

新しい成果のあったこの三年の発掘調査を振り返る

当日は、七百人を超える参加者で会場が満席となり、立ち見がでるほどの盛況であったことが、国史跡指定に向けての、一つの契機と支えとなっています。

これらの経緯を経て、市教育委員会は、国史跡指定を視野に入れつつ、会下山遺跡を現在の学問的水準で再検証するための発掘調査を計画し、平成十九年度から二十一年度にわたり、三次に及ぶ発掘調査を実施しました。この特集では、新しい調査の成果を伝えるとともに、見直された会下山遺跡の学術的な価値を、広く市民の皆さんに伝えたいと思います。

■新たな住まい発見！　第一次調査

(平成二十年三月実施)

山頂尾根南端部に、五本の調査トレンチ(＊注)を設定し、弥生時代中期後半から後期前半の竪穴住居跡一棟を、新たに確認しました。

また、遺物包含層が、山頂部平坦面の南端まで続くことを、突き止めました。見つかった新しい竪穴住居跡は、Ｃ住居跡から南東へ約十ｍに位置しています。斜面の高い方を削り取り、低い方に盛土をして、床部分を造成していたと考えられます。

＊注　トレンチとは、遺構の地下の様子を探るために、テスト的に掘る、細長い試し掘りの溝をいいます。

■のろし台か？　金属器生産のアトリエか？　いのししの燻製窯か？　第三次調査

(平成二十一年八月～十月実施)

高地性遺跡の正確な範囲を見極めるため、北限域および東限域に調査トレンチを八本設定し、遺跡の評価全体に関わる確認調査を行いました。北限付近に設定した第二・第三・第七トレンチでは、堀割状遺構を検出しました。とくに、第二・第七トレンチの遺構は一体のものと考えられ、中世山城の堀割をほうふつとさせます(幅三・三ｍ、深さ〇・九ｍ)。

東斜面の山裾に設定した第四・第五トレンチでは、斜面を削り出し、平坦面を造成した「段状遺構」を各所で確認しました。また、これらの遺構からは弥生時代後期前半の甕や高杯が出土しています。弥生時代でも高座川への水汲みなど、東へ下るルートがあったと想定され、東斜面の裾付近まで遺構が広がっていたと思われます。

さらに第四トレンチでは、東方谷筋斜面で、念入りに岩盤を削って平坦地を造った上で炉づくりを行った、高温・高火度焼成の焼土坑がありました(現長一・六ｍ、深さ〇・九ｍ)。金属器生産などに関わる特殊な炉とも考えられます。土壌サンプルを多量に採取しており、被熱調査を含めた自然科学分析の結果により、今後その機能・用途をより特定できるものと思います。重要な遺構の一つで、多数の研究者からも熱い視線が注がれているところです。

Ｃ号住居跡と同一面上の南西部に接して、別の遺構が二～三存在することが分かりました。

第八トレンチは最も山裾に設けられた調査場所で、従来は土器が出土する可能性は低いと考えられていたところですが、このトレンチからは、多量の土器片に加え、柱跡ないしは杭跡とみられる遺構が確認できました。土器の遺存状態から、ごく近在に生活遺構や別集団の居住域が埋もれていることもわかりました。

集落北限では、堀跡がみつかりました。トップの地形には墳丘墓の可能性を持つマウンドもみられ、それらを取り巻くとともに、村全体の北を画するものかもしれません。

その他に、第三次調査では、遺構配置に関する正確な測量調査を初めて実施しました。３Ｄデジタル測量で、十cm等高線の細密図です。

この山で生活した、弥生人が作った構造物の位置関係がリアルに分かるものです。

現地の発掘状況を視察する藤原周三教育長

磨製石鏃と凍式三翼鏃

中国製

実りある成果を基に来年には国史跡を目指します

五十年ぶりに実施された学術目的の発掘調査により、新たな知見が数多く加わりました。それは、この遺跡の性格のみならず、東アジアで激動の弥生社会の構造にも多くのヒントをもたらす成果です。

会下山遺跡は、竪穴住居跡数棟から成るような小集団のムラ跡ではなく、尾根の縁辺や斜面にも遺構をとどめる規模の大きい集団が生活を営んだ土着性の強い高地性集落であることが新たにわかりました。

分節する地形からみて、複数の集団が、役割を変えつつ存在していた可能性が出てきました。

また、これまでに見つかっている居住や、祭りに使用された竪穴構造の建物、火たき場、倉庫などに加え、新出の堀割状遺構や、金属器生産あるいはのろし台とも考えられる焼土坑などが存在し、防御機能や生産機構の仕組みを高めています。

会下山遺跡は、逃げ城的な小村といわれてきましたが、安定した集団が居住し、生産や流通の面でもはるかに先進的なムラであったことがうかがわれるようになりました。これは、日本の高地性集落の性格や弥生社会の仕組み自体に、大きな見直しを迫る発見といえます。

以上の成果を受け、会下山遺跡は全国を代表する典型的な弥生時代の高地性集落として、全山にさまざまな機能を持つ遺構が今なお存在することが確かめられました。

その保存と活用に向けての取り組みを、国民あげて長年行っていくことは、私たち現代人や未来の人びとに託された大きな課題と思います。

市制七十周年を迎える来年度には、この成果を市民全体で共有する催しも計画しています。

遺跡最高所から六甲山系の山々を眺望

新しい発掘成果を現地で評価　大阪府立弥生文化博物館館長・金関恕氏

■尾根上に遺構を確認した　第二次調査

(平成二十一年二月実施)

山頂尾根部の西斜面に、四本の調査トレンチを設定しました。傾斜に沿って設けたトレンチでは、Ｃ住居跡に近接する遺構の存在を明らかにし、さらには急峻な西斜面域に相当数の土器が出土することがわかりました。

ガラス小玉

12月　テレビ広報番組ガイド 9ch

芦屋市広報番組　あしや30min.(サーティー)

		放送時間〔30分〕
オープニング	うんじゃ隊の心	①8:00
芦屋市の動き	第２回 あしや市民フェスタ	②11:30
芦屋市政キララ	国の史跡指定を目指して 会下山遺跡発掘調査報告 平成19～21年度	③16:00 ④19:00
トピックス	芦屋市商工会青年部主催 キッズ・ミニサッカー大会	⑤22:30
ドラマサーティ	自転車安全物語	※ビデオテープ貸出可
市民の時間	感動を伝えたい　民舞表現運動研究チーム	
エンディング	山手夢保育園「赤鼻のトナカイ」	

■「J:COM特別番組」放送のため、12月31日(木)の⑤の放送はありません。

■アナログ放送は９chで、地上デジタル放送は11chでご覧ください。

■番組に関する問い合わせ　広報課　☎38-2006　■CATV全般に関する問い合わせ　㈱ケーブルネット神戸芦屋(J:COM)カスタマーズセンター　0120-13-8160

広告チラシで作るお正月用リース

自分で作ったしめ飾りで迎えよう新しい年

■日時　12月18日(金)午後１時30分～３時30分　■会場　市役所分庁舎２階中会議室　■持ち物　新聞チラシ(８cm×55cmを36枚)・直径３mmの編棒１本・ボンド・はさみ　■参加費　350円　■申し込み　下記へ

問い合わせ　消費生活センター　☎38-2179

ヒューマンライツシアター　「陸に上がった軍艦」

日本映画界最高齢の監督が体験した戦争とは…

■日時　12月９日(水)①午前10時30分～午後０時５分②午後２時～３時35分　■会場　上宮川文化センター３階ホール　■出演等　蟹江一平・滝藤賢一ほか／語り・大竹しのぶ／山本保博監督作品〈１時間35分〉　■参加費　350円　■定員　先着各150人　■申し込み　直接会場へ

問い合わせ　上宮川文化センター　☎22-9229

いきいきシネマサロン「60歳のラブレター」

隣にいるのが当然だった…。そんなあなたのかけがえのなさに、ようやく気づく…

■日時　12月５日(土)①午前10時～午後０時９分②午後１時～３時９分③午後３時40分～５時49分　■会場　ルナ・ホール　■出演等　中村雅俊・原田美枝子・井上順・戸田恵子・イッセー尾形・綾戸智恵／深川栄作監督作品〈２時間９分〉　■入場料　中学生以上1,000円・小学生500円〈当日券のみ・全席自由〉＊広報紙掲載記事部分持参で、中学生以上200円引き

問い合わせ　市民センター　☎31-4995

ブルーアイランド氏のクリスマス

世界一受けたい授業、題名のない音楽会などでもおなじみのブルーアイランド氏こと青島広志氏が軽快なトークと演奏でお贈りするクリスマス！素敵なイブをご一緒に!!

■日時　12月24日(木)午後６時30分開場・午後７時開演　■会場　ルナ・ホール　■出演　青島広志・横山美奈(ソプラノ)・澤田浩一(テノール)・ボイスフィールド(合唱)　■入場料　前売2,000円(当日2,500円)　■チケット販売所　市民センター事務所・グリル業平・市役所売店・ローソンチケット(Lコード57560)

青島　広志

問い合わせ　市民センター　☎31-4995